

令和3年度 第2回府中市環境保全活動センター検討調整会

書面開催結果

■日 時：令和3年7月30日（金）

■出席：（敬称略）

（委員）（7名）室 英治、塚原 仁、山田 義夫、増山 弘子、表 伸一郎、
小西 信生、成瀬 こずえ

■欠席：（敬称略）

（委員）（1名）内山 雄太

■議 事

1 報告

- ・環境審議会では環境基本計画改定が検討されており、保全活動センターの役割もかなり重要視されている。検討調整会のメンバーも3名参加しており、外部からの期待に対し、実態が伴っていないことに忸怩たるものがある
- ・議事録;かんきょう塾 2021 について 受講者の数が第1回申込者は8名でしたが 中止になった第2回は何名増えたのでしょうか？

2 議事

①かんきょう塾 2021 第6回講座内容の変更、表氏の講演について

- ・当初より2年近く経過しており、内容も変節しており、経済成長し続け、人口も増やし続けて、環境を守るなんて出来るの?という文明転換論になりつつある。
- ・表さんの識見に期待します。
現在、国、東京都、府中市が進めようとしている地球温暖化地域対応計画の策定に参考になり、本文中にも取り入れられるお話を聞けることを楽しみにしたいと思います。
- ・今後コロナ感染がどうなるかわからないため、すでに準備して、ビデオ撮影してはどうだろうか？
- ・コロナ禍の中、講座内容の変更はやむを得ないと思います。ここ数年の日本の異常気象は温暖化が一因とも考えられ、表さんのご講演楽しみです。
- ・賛成 コロナが治まっているかどうか心配です。
- ・賛成します。

② 2月開催の特別公開講演会について

- ・コノエ講師は、こじんまりした会場で、出席者を巻き込んだ形式の方が効果があるように思えるが、講演となれば人を呼べるタイトルにする工夫が必要とむ思われる。
- ・新型コロナウイルス感染症は今年の状況からみる限り、通常の風邪やインフルエンザと同様に夏より冬の方が感染者が多いようです。
緊急事態宣言中以外での開催を考えるとすれば、今年度であれば秋の方がベターではないか、と考えます。
- ・私は藤村氏の講演の聴講は初めてで期待しています。今後、親子を対象にしたテーマを選定したら如何でしょうか。特に環境に関するテーマを親子で話す機会が増えることを期待して。
- ・大賛成です。コロナの抑え込みが必須条件になってしまいますが。
- ・賛成します。

③ コロナ禍でのイベント開催の検討基準について

- ・環境審議会もオンラインで進めており、オンラインが望ましいが、少人数のワクチン接種者が多いメンバーであれば、通常会議でも問題ないと思う。
- ・緊急事態宣言中は屋内はもとより、屋外であっても、開催は自粛すべきと考えます。
- ・国、都、府中市の検討基準に準ずる。また、イベントに関してはオンラインイベントにしても良いかと思えます。
- ・今回のようなコロナの爆発的な感染状況ではイベント開催中止はやむを得ないと思えます。しかし状況によっては、感染予防対策を十分に施したうえで開催は不可能ではないと思えます。
- ・原則的に非常事態宣言期間は開催をあきらめなければならないと思えます。
- ・緊急事態宣言中、まん延防止措置の対応は、これまで同様の対応でよろしいかと思えます。

④ 検討調整会アンケートについて

- ・山田さん、成瀬さんも今年度からの環境審議会委員です。
第3次環境基本計画を策定するとき、小学校高学年または中学校の環境学習用に使える概要版として使う前提で、概要版を作り、教育委員会とも事前に活用の同意をいただくと共に、学校側の要望と共に、環境保全活動センター側の体制を作っていけたら、と考えます。
- ・オンラインでの会議も可能だと思えます。オンラインに参加できない方が2名いらっしゃるこの事ですが、工夫をすればそれも可能だと思いま

- す。ただ、行政がそれをNO というのであれば無理ですが・・・
- 活動センターの機能が充実するまで、現体制での実績を積み上げ周囲に存在感を示すのも肝要。「かんきょう塾講座」「小中学校への学習支援」「各種イベント」「広報活動」等々を充実させるための要員確保は急ぎたい。
 - アンケートの内容は皆さんそれぞれの感覚で受け取られて回答されてきていると思われるので、一度皆さんの意見を整理し具現化の為のプライオリティーをつけてみたいと思います。
 - 今年度中（冬ごろまで）は、コロナの感染者数も減る可能性も難しいように感じています。オンライン対応が可能な方はオンラインでの会議への参加ができるような対応を検討いただくことは可能でしょうか？

3 その他

次回開催日について確認した。